

# かすかべ KASUKABE 議会だより

2006(平成18)年11月1日発行  
発行・埼玉県春日部市議会  
編集・議会だより編集委員会  
<http://www.city.kasukabe.lg.jp/>

## 第5号



春日部市身体障害者体育祭



### 主な内容

主な議案の紹介……………	2～3ページ
一般質問……………	4～14ページ
審議結果……………	15ページ
閉会中の委員会活動……………	16ページ
傍聴して一言……………	16ページ

# 平成17年度春日部市

## 一般会計決算を認定

### 議員提出議案は、8議案が提出され7議案を可決

#### 平成17年度一般 会計決算を認定

新春日部市の平成17年10月1日から平成18年3月31日までの半年間のものです。

##### ○主な内容

予算現額322億2409万4000円に対して、歳入決算額は325億642万2186円、歳出決算額は309億1282万8906円となりました。差引残額は、15億9359万円となり、平成18年度に繰り越すものです。

##### ○歳入の主なもの

歳入の根幹の市税は114億2822万8043円で全体の35.16%を占めています。次いで、市債が58億1120万円（全体の17.88%）、国庫支出金が30億1451万7214円（全体の9.27%）、地方交付税は22億5334万6000円（全体の6.93%）となっています。

また、諸収入が33億9511万457円（全体の10.44%）で、旧市町の歳計剰余金20億9942万5000円が含まれています。

##### ○歳出の主なもの

歳出において占める割合の大きいのは、民生費で80億6281万8722円（全体の26.08%）、次いで、総務費が57億7214万4124円（全体の18.67%）、公債費が40億6781万3123円（全体の13.16%）、土木費が39億4879万5054円（全体の12.77%）、教育費が34億1594万3199円（全体の11.05%）、衛生費が32億9013万6272円（全体の10.64%）となっています。この衛生費には、合併により解散した埼玉清掃組合経費が、環境センター経費として含まれています。

#### 討 論

市民本位の市政実現に全力を挙げることとを申し上げ、決算認定に反対（日本共産党）

合併によって大きく負担が軽減されたという実感はありません。庄和地域で行われてきたきめ細かな住民サービスを洗い出して復活させ、全域に広げることを強く求めます。財政面では、少しも好転したという兆しさえないのは、明らかです。市長は今議会で、宮代、杉戸との合併を口にしていますが、春日部、庄和の合併の市民的な総括もされていない今日において、軽々に口にすべきではありません。こども医療費無料制度では、一歩前進ですが、これでもうやく世間並みです。子育て日本一の公約にふさわしい水準までの引き上げを求めます。庄和総合支所の図書館実現

【賛成多数で認定】

の合併時の約束は一刻も早く履行されなければなりません。19年度建設、20年度オープンで進めることを強く求めます。一層の効率的な財政運営に努めてもらうことを要望して賛成（新政の会）

旧市町の施策を引き継ぎつつ合併後の市民生活に支障を来さないよう、迅速かつ効率的な予算執行に努めたことは、評価するものと考えます。歳入は、自主財源の確保に向けて収納率向上対策に全力で取り組まれたことに、一定の評価をします。さらなる財源確保の努力をお願いします。市債については、計画的かつ効率的な借り入れを望みます。

歳出では、北春日部駅にエレベーターと身障者トイレが整備されて、障害者や高齢者の安全と利便性が向上したものと考えます。また、庄和子育て支援センターが6月にオープンして少子化対策の拠点になるものと期待いたします。まちづくりでは、春日部駅南桜井駅周辺の環境整備を行うなど、地域の活性化が図られるものと期待いたします。

#### 議員提出議案

病院長、病院事務部長に  
対する 処 分の  
撤回を求める決議

先般、市立病院長、病院事務部長に対し、それぞれ「口頭注意」、「訓告」の処分が行われた。これは、平成18年6月春日部市議会定例会での「高橋弘監査委員の辞職を求める決議」及び、「春日部市立病院の再建、充実を求める決議」の精神に反する不当なものである。よってこの処分を市長は撤回すべきである。以上、決議する。

平成18年9月22日

春日部市議会

【賛成多数で原案可決】

#### 討 論

今回の措置は専ら  
市長の権限である  
ため反対（新政の会）

今回の措置は、職員行為に対する地方公務員法に基づかない市長からの注意だと認識しています。そもそも市長は、職員の行為によって公務

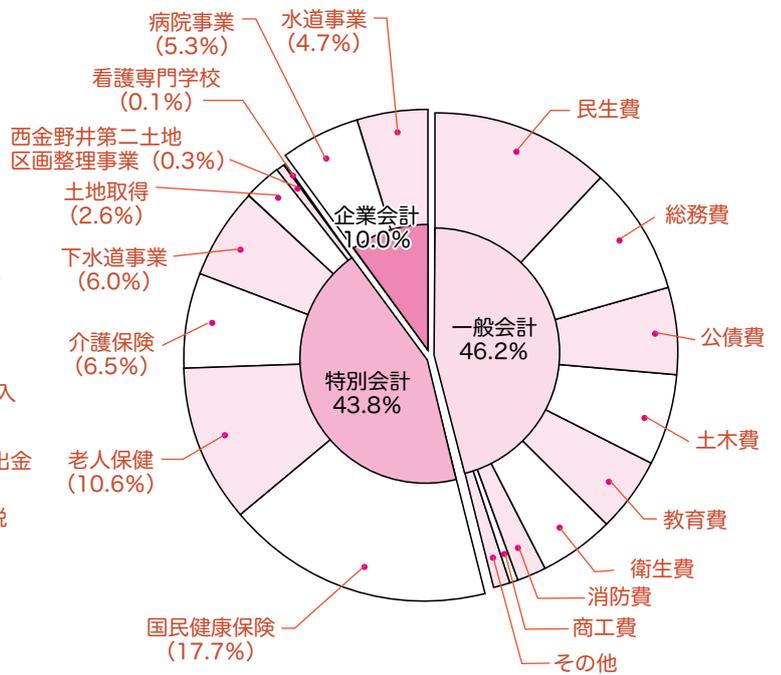
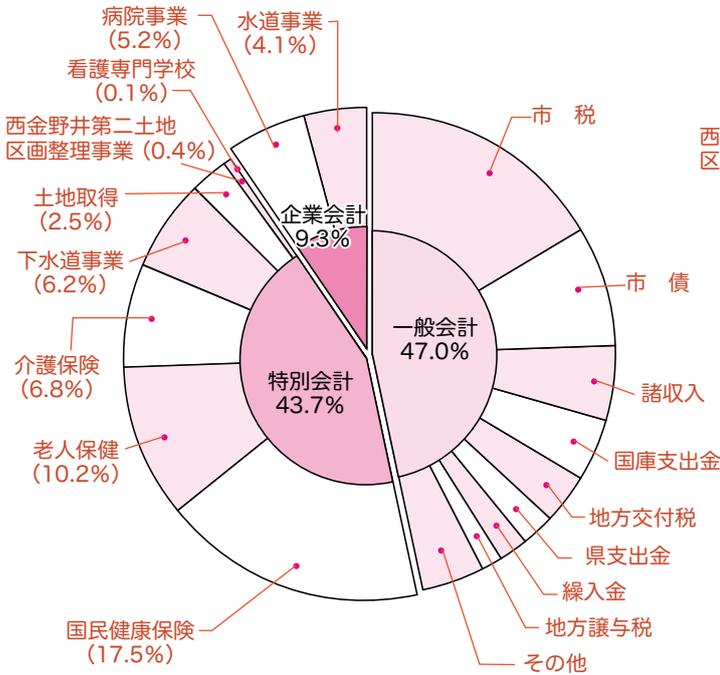


# 平成17年度 会計別決算

(平成17年10月1日～平成18年3月31日)

歳入総額 691億5,423万円

歳出総額 669億4,546万円



一般会計		特別会計		企業会計			
歳入	歳出	歳入	歳出	病院事業	水道事業		
市税	114億2,823万円	国民健康保険	121億1,236万円	118億5,466万円	収益的収入	27億4,917万円	22億2,504万円
市債	58億1,120万円	老人保健	70億3,780万円	71億1,695万円	収益的支出	29億8,449万円	20億8,157万円
諸収入	33億9,511万円	介護保険	47億227万円	43億9,086万円	資本的収入	8億4,453万円	6億2,111万円
国庫支出金	30億1,452万円	下水道事業	42億5,392万円	39億9,935万円	資本的支出	5億5,853万円	10億5,385万円
地方交付税	22億5,334万円	土地取得	17億3,604万円	17億3,604万円			
県支出金	15億8,821万円	西金野井第二土地区画整理事業	2億9,588万円	1億8,962万円			
繰入金	13億2,924万円	看護専門学校	6,969万円	6,671万円			
地方譲与税	8億9,705万円	計	302億796万円	293億5,419万円			
その他	27億8,952万円						
計	325億642万円						

の秩序が保たれないと判断した時には、再発防止のため、必要な措置をとるべきものであり、今回の措置もそれに基づいた措置であると思います。

**今後の再建へ向けての取り組みに水を差すものであり賛成（日本共産党）**

6月議会での「再建・充実を求める決議」以降、市を挙げて市立病院の再建・充実のために、全力を尽くしてきたことと思います。この状況の中で、一方的に病院側だけに責任を負わせて、あたかも市長や市長部局には何ら責任がないような措置は、この決議の精神に反すると思います。

**病院スタッフのやる気もなくすものであるため賛成（春和会）**

病院長は、非常に診療業務に熱意のある立派な方です。その方が監査委員の言動に対して思い余った措置に對する処分です。病院長を罰するならば、市長も罰を受けるのが正當ではないかと思ひます。処分は、再建に向け重大な使命がある病院スタッフを傷つけるものだと思います。



## 一般質問に32人が登壇

### トップマネジメント 機能の充実について



山崎 進  
議員

平成17年10月1日に旧春日部市と旧庄和町との合併により、現在の春日部市が誕生し、間もなく一周年を迎えることとなります。合併直後の膨大な業務量を今日までこなしてこられた市長の活躍は多くの市民が認めるところですが、市長の業務量が過剰であり、このままの状態では市長が望む本来の市長業務を満足にこなすことはできないと感じています。一日も早い助役の就任が必要と考えております。

例えば、今般マスコミをにぎわせている地方公務員の飲酒運転による事故などは、市長のトップマネジメントの進め方にかかわる問題かと思えます。助役不在の現在、市長はみずから陣頭指揮に立って、このような問題に対応しなければならぬものと思えます。

○市長のお考えを伺います。

山崎議員がおっしゃるとおり、合併直後のまちづくりを進めていく上で、市長としての業務は大変多くあります。当然のことながら、助役につきましては必要なポジションであると考えております。助役につきましては方向性を見きわめ、議員の皆様方と相談をさせていただき、春日部市の将来にふさわしい人材を選し、12月定例会の提案を目途に努力してまいりたいと考えております。

このほか

- 放置自動車について
- 停電対策について

### 「食育」への 取り組みについて



岩谷 一弘  
議員

昨年、食育基本法が施行されました。「食」への意識を高め、生産活動への感謝の念を深め、適切な判断を行う能力を身につけ、心身の健康を増進するため制定された法律です。これに基づいて「食育推進基本計画」が平成18年3月に作成されました。

これを踏まえて、以下「食育」に関しまして質問します。

- ①食に関する今までの取り組みと当市独自の食育推進基本計画策定について
- ②食育による肥満などの生活習慣病の予防について
- ③給食・総合学習での食育への取り組みについて
- ④食育による一般廃棄物減量計画について

### ○健康保険部長

健康教室等での栄養教育、栄養相談、健康カレンダーの配布などを行っています。

生活習慣病予防等に食育は大変有効であると考え、総合的かつ効果的に推進するために、食育推進基本計画を期限までに策定いたします。

### ○教育長

食育は、重要なテーマと認識し、全教育課程の中で推進するよう指導いたします。

### ○環境経済部長

現在作成中の一般廃棄物処理計画に取り入れるべく研究いたします。

### ○市長

子育て日本一を目指す本市としては、可能な限り早期に計画策定の準備をいたします。

このほか

○駅西口大型商業施設開業における道路対策について

## 小児医療の充実・ 視力矯正支援について



栗原 信司  
議員

小児医療費無料対象年齢の引き上げと窓口払いの廃止は、公明党として一貫して主張してきたことであり、悲願とも言えます。先の6月定例会でも全会一致で請願が可決されるなど市長と議会と市民の思いが一致するものです。

そこで、改めて通院医療費の無料対象年齢の拡大と病院での窓口払いの廃止について市の対応をお伺いします。

また、弱視などの治療方法である視力矯正治療支援策について、医師の診断により視力矯正用の眼鏡等を購入する際の費用については、本年4月より健康保険の対象となりましたが、年齢制限があり対象が限られています。

市として独自の支援策がとれないものかお伺いします。

○**福祉部長**  
請願の採択を重く受け止め、平成19年度の早い時期に通院の対象年齢の拡大及び窓口払

いの廃止が実現できるような方を期して進めてまいります。

### ○健康保険部長

視力矯正治療への市の独自の助成については、今後対象となる児童数や該当する低所得世帯数等を調査把握し、補助率や額について検討してまいります。まずは、対象年齢の1歳引き上げについて、前向きに検討してまいります。

### このほか

○HPにバナー広告で地場産業育成を・広告料は市外から  
○西口の大規模商業施設に伴う交通安全対策

### 平成12年12月のテニスコートの質疑について その後の結果及び経過を問う



阿部 喜一  
議員

表題の通り6年前、平成12年にテニスコートに関し一般質問として納得のいくまで続けるよと一石を投じておりますが、市民の身近なスポーツとして、最近頼りに注目されているテニス、その愛好者は増大の一途をたどっております。その後の経過として現在使

用可能なテニスコートは何面あるのか。需要と供給のバランスは保たれているのか、前回も質疑の中心となったウイング・ハットに計画していた9面のテニスコートは、その後どうなっているのか。

年齢、性別を問わず大勢の市民の方々が健康管理に適切としてテニスに参加しております。市として対処すべきと考えます。

### ○社会教育部長

平成12年12月時点では本市の公営のテニスコートは11面でしたが、平成14年に谷原中西側テニスコート8面の暫定使用を開始し、平成17年には合併により庄和テニスコート4面が増え現在23面で、このうちナイター設備があるのは庄和テニスコートの4面です。

谷原地区に計画のテニスコートは財政状況等から計画推進が難しい状況です。谷原中西側テニスコートは水はけ改良などを実施しており、今後も整備に努めてまいります。

### このほか

○余熱利用施設(温水プール)市長答弁のその後の考え方  
○ユリノキ通りの米島までの延伸・信号機設置を含めその後の進捗を問う

## 仮称「庄和図書館」の 規模・内容・ 開館年度を明確に！



福田 晃子  
議員

合併公約でもあり、新市建設計画にも位置づけられている仮称「庄和図書館」の進捗状況と、開館年度について、この間、継続して取り上げてきたが、具体的に明らかにされていません。

春日部市の図書館行政は、平成17年度市町村図書館活動調査結果一覧によると、住民1人当たりの蔵書冊数は県内71市町村中51位、貸出冊数は55位と、非常に遅れた状況である。総合支所の有効活用として「図書館」ができれば、24万春日部市の文化の拠点となる。財源は「図書館建設基金」「合併特例債」を活用すれば問題はないと考える。規模を縮小することなく、「基本計画書」を尊重した「森の中の図書館」を早期に建設すべきである。開館までのスケジュールを明らかにされたい。

○**社会教育部長**  
現在、(仮称)庄和図書館

建設準備会が、基本計画書を尊重してまとめた「方針案」をもとに、庁内調整会議で規模・内容等を検討しています。現段階では、整備に向けての年限は答えられません。

### ○市長

(仮称)庄和図書館の建設は、重要な課題の一つです。総合支所全体の有効活用を考え、適正な規模などを検討していきます。財政状況を見きわめながら、早期開館を目指していきたい。

### このほか

○南桜井駅周辺整備事業について



中央図書館

## 粗大ごみ等分別区分の 統一化について



富樫 清年  
議員

合併後約一年になろうとしています。大きく違いがあるのがごみ問題だと思えます。春日部地域と庄和地域において、粗大ごみなどのごみの分別の差異について、その内容と統一の時期について伺います。また、分別区分と同様に、ごみ処理手数料についても差異があると思えますが、早急に統一に向けての取り組みをお願いしたいと思います。その統一の時期について伺います。さらに、ごみ処理施設での受け入れ品目についての差異があるようですので、その理由と今後の対策について伺います。

### ○環境経済部長

春日部地域と庄和地域では、ごみの収集方法等に違いがあり、この差異を解消するために、合併協議の中でも十分調整を重ね、合併後3年を目標に一元化を図ることになっていました。今年度策定中の一

般廃棄物処理基本計画の中で検討し、一元化が図れるよう鋭意取り組んでまいります。

### ○市長

今年度策定する一般廃棄物処理基本計画の中で重要な課題と位置づけ、十分検討するよう指示してまいります。

### このほか

○県道（松伏・庄和・関宿線）に補助信号機の設置を  
○県道（西金野井・春日部線）下柳地区の歩道及び道路整備について  
○循環福祉バスの春日部地域への路線拡充について  
○空き交番対策について



クリーンセンター庄和

## 厚生労働省生活保護 「手引」の問題点



秋山 文和  
議員

厚生労働省は、今年3月30日に生活保護行政を適正に運営するための手引を地方の担当部局あてに通知しました。

この手引は、生活保護の申請時から決定に至るまでの対応や調査と指導、指示による締めつけなどを強めており、この通知により生活保護法を変質させるひどいものです。保護申請時に調査や検診命令ができるとしたこと、指導及び指示に従わないときに保護の変更・停止・廃止とするなどさまざまな問題点があります。同時に、厚生労働省の適正化を進めても予算削減ができない場合、国庫負担を減らすとしています。

### ○福祉部長

憲法の定める「文化的な最低限の生活を営む権利」をしつかり守る立場で頑張ることが重要ですが、市の見解はいかがでしょうか。

憲法の精神に基づき、生活

保護法の基本原則を遵守し、今後とも真に生活保護を必要とする方に手を差し伸べてまいりたいと考えています。

### ○市長

今後とも生活保護を必要とする人たちの保護が適正に行われることが重要と考えております。この制度は国が責任を持って維持していくべきであり、地方の負担が増えないよう今後も要望してまいります。

### このほか

○住宅リフォーム助成制度は循環型経済をめざすもの  
○市立病院「再建・充実」決議をどう受けとめるか

## 「公益通報条例」の 制定について



大山 利夫  
議員

本年4月に、行政の不当及び不正行為に対し、公益のために通報した職員を保護などを目的とした公益通報者保護法が施行されたところです。

昨今の岐阜県庁の裏金問題など不正経理の実態は、内部告発がなければ真相が明るみに出にくいという点があります。

内閣府が公益通報を要綱または条例化した自治体に対して行ったアンケートでは、7割の自治体が職員の法令遵守に関する関心が高まったと回答しております。

東部地区で唯一合併を成功させた市として、市役所内部の透明化をより一層高め、市民に公正な市政運営を提供するために、公益通報の要綱または条例の制定を早急に進めるべきと考えます。具体的な施行時期をお聞かせ願います。

### ○総務部長

現在検討作業中ですが、今後全庁的な検討を行い、できる限り早い時間で取りまとめ、来年4月を目標に進めていきたいと考えています。

### このほか

○「商業振興基本条例」の制定について  
○「高齢者ドライバーの運転免許返納支援制度」の導入について  
○放課後児童クラブに「夏・冬・春休み給食」の導入について

○合併一周年を記念して「市の歌」の作成について

○共栄大学・共栄短期大学と春日部市との「包括的連携協定の締結」について

## 東埼玉道路 建設促進について



野口 浩昭  
議員

東埼玉道路は、八潮市八條から春日部市の国道16号庄和インターまでが都市計画決定されており、吉川市川藤までの側道が供用開始されています。供用開始区間においては、並行する県道等の交通量が減少し、渋滞緩和が図られ、整備効果が現れているそうです。また、関係の6市3町で東埼玉道路建設促進期成同盟会が組織されており、本年は春日部市水角までの早期事業化を要望したと聞いております。

今回の要望しました水角の4号バイパスまでの区間が完成すると、本市においては県道松伏庄和関宿線や、春日部松伏線の交通量が大幅に減少すると期待されています。

今後の整備計画は関東地方整備局によると、都市計画決定区間について順次整備を進めるとのことです。期成同盟会とともに早期完成に向け強く要望してまいります。

### 市長

吉川市、松伏町の首長と共に、今年度もう一度更に強く要望行動を実施する予定です。このほか

### 合併後の事務事業調整状況について

## 人件費の合理化と事務の能率化について



山口 保  
議員

市は常に仕事のやり方を創意工夫し、一層の合理化を努力すべきです。少ない人員で能力を上げ、人件費の適正化を図る必要があります。そこで5点にわたって伺います。

①今後の長期財政計画での人件費比率の見込みは。  
②退職と新規採用との関係で、

定員を削減する考えはないか。  
③既存の事務事業のうち、さらに民間委託できる分野はないか。粕壁三丁目A街区に予定の児童施設はどうか。

④事務の電算化による適正配置はどう考えるか。  
⑤信賞必罰の制度と、よく働く職員に意欲を持たせ、活力ある職場環境をつくる対策は。

### 財務部長

人件費の割合は22〜23%で推移しており、今後は平成21年頃から削減が見込まれます。

### 総合政策部長

職員定員は、行政需要の動向等を見きわめつつ、電算化による効率化も含め、今年度中に適正化計画を策定します。今後の民間委託については、指定管理者制度の活用も含め、実施します。A街区の児童施設については十分検討します。

### 総務部長

信賞必罰については、現在は特別昇給制度と分限懲戒処分があります。また、昇任試験制度や研修が、職員の意欲向上と職場の活性化につながっていると考えます。

### このほか

○市町村合併の推進について  
○市道2-11号線の道路拡幅と歩道整備について

## 郊外への大規模商業施設の出店反対 商店街の活性化を



松本 浩一  
議員

庄和・下柳地区への14万㎡の大規模商業施設出店に対して、春日部市商工会連合会と庄和商店会連合会から「インセンス・パークを始めとする、今後の郊外への大規模商業施設出店反対について」の陳情書が提出されています。

今年6月の法改正によつて、郊外への1万㎡を超える大型店の出店は規制されることになりました。郊外に大型店ができる、商店街が崩壊して、身近な商店で買えない物が多くなり、失業者も増え、中心市街地は空洞化し、治安も悪化します。

春日部市でも、この5年間で455の事業所が閉店し、市街地の5つの大型店が閉店しています。全国でも、このような状況が相次ぎ、「焼畑商業」といわれる事態が進み、法規制することになりました。このことから、今回の大規模商業施設出店に対して、

市として「待った」をかけるべきですが、見解を伺います。

### 市長

今回の大規模商業施設出店で、市内商店街への影響は否めませんが、必ずしも悪い影響ばかりとは考えていません。大型商業施設の集客力を活用しながら商店街を支援し、相乗効果で地域経済の発展に努めてまいります。

### このほか

○教育基本法の理念を生かした教育を  
○駅前自転車の整理、公園清掃の充実を



商店街

## 市民の目線に 立った市政運営 現場主義について



河井 美久  
議員

市長の表明した新生春日部の基本姿勢は、市民との座談会等での生の声を生かしたものと伺っております。市政を推進していく上で市民からの提案や意見をよく聴き、事業を実施していくことは大変重要だと考えます。そこで、

新市発足に伴いスタートした「市長への提言」、「市長のふれあい訪問」、「市長の出前市政懇談会」の三つの広聴制度の概要と、提案意見への対応を伺います。また、市民が持つ知識経験等を行政に反映させることも有効なことだと考えますが、どのように取り組んでいるのか伺います。

### ○総合政策部長

市長への提言は、公共施設等に提言用紙を設置し、市民の方が日頃考えている意見等について提言できるものです。市長のふれあい訪問は、団体やサークルを市長が訪問し、活動の現場での意見を聴かせ

ていただきつつ、団体活動の活性化も期待するものです。市長の出前市政懇談会は、自治会等の会合に市長が出席し、市政に対する意見を聴きながら、懇談するものです。これらの意見は、事務事業に反映させていただいていきます。市民の知識経験を生かす取り組みについては、各種審議会等においては公募委員を

採用しています。

### ○市長

市民の意見が、より迅速、公正に市政に反映される仕組みを強固にし、市民の目線に立った市政運営を実現します。

## 新市の一体化 醸成について



会田 幸一  
議員

合併後、新市の速やかな一体化促進のため、様々な施策が展開されております。しかし、市民の皆さんは目に見えらる一体化が日常生活の中で実感できていないのではないのでしょうか。そのためには6月議会でも一般質問しました両地域を結ぶネットワーク道路

の早期着工、早期完成が一番重要であると考えていました。このたび、藤塚米島線として整備に着手することになりましたが、新市建設計画に盛り込まれた他の計画に優先して整備すると判断した考え方と関係権利者を含めた説明会における反応をお伺いいたします。

### ○市長

新市においては春日部地域と庄和地域の住民が早期に一体化の醸成が図れるよう施策展開を行う必要があると考えております。そのためには両地域を結ぶ道路網の整備が必要不可欠であり、藤塚米島線を優先的に実施すべきと考え本定例会に補正予算をお願いしました。また、過日実施しました都市計画決定に関する説明会でも反対意見はなく、むしろ早期に事業計画を示して欲しいとの要望があつたようです。今後も地元の方々の理解が得られるよう誠心誠意対応してまいります。

### このほか

- 市長への提言の運用状況について
- 庄和総合支所の景観美化について
- 正風館の舞台照明の利用について

## 春日部市立病院について



滝澤 英明  
議員

本市における市立病院の存在意義は、小児、周産期、救急、高度医療を担うことであり、その内容が市民から認められなければ、その存在こそが無意味になると考えます。病院収益低迷の原因として看護師不足による西6階病棟閉鎖が大きいと伺っています。全国的な看護師不足のなかで、平成18年度の診療報酬制度改革により、7対1看護に移行することで1日入院一人当たり約3000円の収益が上がることから、病床を閉鎖して7対1看護をとる病院もあると聞いています。市立病院における看護師不足への対応と、7対1看護体制の取得等、経営面での変更の考えがあるのか伺います。また、医療という企業運営の弾力性確保と労務管理の独自性、経営の自主性の強化実現のため、地方公営企業法の全部適用が必要と考えますが、考えを伺います。

### ○病院事務部長

看護師募集については、毎月の広報紙やホームページを活用し随時募集を行っております。市立看護専門学校卒業生も現時点では全員が就職を希望しており、10月以降に一般の方への採用試験も3回に分けて実施していく状況です。

### ○病院長

今の状況の中で病床を削減して7対1看護をとることにについては、現在検討中です。経営の改善を考えており、職員の意識改革のためにも地方公営企業法の全部適用の導入が必要と考えられています。



市立病院 東5階

## 内牧地区の 市道整備について



石川 勝也  
議員

市道2-1号線は、栄町から彩光苑の前を通り、白岡町と結ぶ便利な道路です。この道路は、通学路として、内牧公園の進入路として、また産直の里内牧の道路として、内牧地区の振興に重要な役割を果たしています。一部については長尺のU字溝で蓋掛けがしてありますが、それ以外の場所は幅員6メートルのうち、実質5・2メートル程しか利用できていません。今後の歩道の設置や、側溝整備の改修計画について伺います。



市道2-1号線

関連して、2-1号線は「アグリ通り」、1-3号線は「四方谷通り」という標識をつければ愛着が深まり印象に残るという声がありますが、このことについても伺います。

### ○建設部長

2-1号線については、今後とも側溝整備を重点的に進めてまいります。1-3号線については、今後、旧型の側溝部分について調査を行い対応してまいります。また、道路の愛称名は、主に都市計画道路につけております。地域の皆さんが愛称名で呼び合うことは支障がないと考えます。

## 内牧地区の危険な 市道箇所について



武 幹也  
議員

栄町一丁目から内牧公園入り口を通る市道2-1号線は交通量が多いのに幅員6メートル程度で車2台がすれ違うのが精一杯です。特に内牧公園入り口手前のクランク状になった部分と彩光苑の北側のS字カーブでは死亡事故や脱輪事故などがたびたび発生しております。

また、市道2-41号線の内牧小学校前のカーブは多くの児童が集中する通学路になっていながら片側歩道状態で非常に危険です。

### ○建設部長

これら、市道の危険箇所の安全対策について伺います。

市道2-1号線のクランク状の部分については、道路を直線にすることが抜本的な対策ではありますが、事業費等の関係から現時点では非常に難しいと考えております。S字カーブの部分とあわせて側溝改修により、道路幅員を有

効活用することで対応したいと考えております。

内牧小学校前のカーブについては、学校側の垣根との間に花壇の部分があり、ここに道路の線形を入れカーブを緩やかにすることで道路に余裕が取れるか検討しております。

### このほか

- 新子育てガイドブックについて
- ポイ捨て条例と路上喫煙防止条例について
- 春日部市の都市型農業について
- プール等の安全管理について

## 障害者自立支援法で くらしと人権を守る 市の独自施策を



並木 敏恵  
議員

障害者自立支援法が、今年4月からサービス利用者の一割負担が導入され、10月から本格実施となります。障害があっても安心してくらせるよう市の役割は重要です。

一割負担の導入で、障害者の負担はどれくらい増えたのか、市の負担はどう変わった

のかを明らかにしてもらいたい。全国では、介護保険が開始された時の2倍を超える自治体が、利用者負担を軽減する制度を設けている。春日部市でも補助すべきではないか。

手話通訳やガイドヘルプなど、市に義務付けられた事業は「無料」を原則とすべきと思うがどうか。また、「障害者福祉計画」は、障害者の実態調査をもとに、ニーズに

### ○福祉部長

一割負担の影響は、延べ713人。自己負担なしだったサービスも最低2千円程度の自己負担となり、施設入所者は食費、居住費合わせて5万8千円の負担が生じています。公費負担に対する影響額の詳細は不透明です。

手話通訳は現在無料、ガイドヘルプは一割自己負担であり、10月以降も現状維持とする予定です。障害者福祉計画は、抽出アンケートでニーズ把握を行い、自立と社会参加の観点で、当事者の意見も踏まえて策定してまいります。

### このほか

○住民税増税など高齢者負担増の実態と負担軽減の取組み

## サービス産業としての 市役所に関して



白土 幸仁  
議員

本市と同様にベッドタウンである東京都多摩地域の多くの市では、自らの市民の特質を認識し、土日の開庁を行い、サービス産業として市役所のイメージ向上や税の収納率アップ等に貢献をしています。

市役所がサービス産業であるならば、市民の需要に合わせるなら、市民の需要に合わせてサービスを提供するのが市役所の使命です。現在、本市でも、土日開庁が必要な課の研究成果から、繁忙期には土日開庁を実施しています。

そこで、その研究成果をもとに、経費を増加させず、また労働環境を維持した中で、シフト制を活用した通年での実施に関する考え方と、土日開庁に準ずる自動交付機の利用状況から見る開庁の必要性の認識についてお聞きします。

### ○総合政策部長

窓口業務は根幹的な行政サービスで、土日の開庁は、大変有効なものと考えています。

シフト制の対応については、業務が集中する時期には、職員員の増員や電算システムの稼働費用等のコストが生じ、旧春日部市の利用実績、費用対効果など総合的な検討の結果、通年での実施は難しいと判断しています。

また、自動交付機は、土日開庁に近いサービスと考えています。今後も市民要望を注視し、利用状況や先進事例等多方面から検証し、十分精査してまいりたいと考えます。

### このほか

○ベッドタウンにおける今後  
の問題点に関して



市役所1階窓口

## 市民サービスの 向上について



小久保博史  
議員

窓口を一つにするいわゆるワンストップサービスについては、スペースや実施方法に問題があるということと全く進んでいないのが現状です。

現在、福祉部門を見ますと、子育てに関する部署が別棟にあり利用者の視点でなく、市役所の管理の都合になっているという気がしてなりません。

そこで、一歩でも半歩でも前進するため、相談件数が一番多い福祉部への導入をまず検討すべきと考えますがどうか。

また、今定例会の一般質問で、医療費無料制度の通院年齢の拡大及び窓口払い廃止について平成19年度早期実施に向け準備しているとの答弁がありました。子を持つ市民が切望するものであり、積極的な市長の考え方を伺いたい。

### ○福祉部長

個人台帳の管理場所や窓口スペース等の確保などの課題がありますが、お客様主体の

対応を目指すことを第一とし、福祉相談窓口の設置に向け、課題を含め関係各課と協議していきたいと考えています。

### ○市長

子ども医療費無料制度の充実を求める請願が全会一致で採択されたことを真摯に受け止め、来年4月から通院を7歳の誕生日の末日までに拡大するとともに、窓口払いの廃止を実施したいと考えています。

### このほか

○防災無線について  
○総合支所の今後の活用について  
○地場産業の育成について

## このままでは国と 地方は財政破綻する 対応策を探る



新部 裕介  
議員

現在、国と地方の借金の総額は、GDPの2倍以上にあ

たる1100兆円を超え、主要先進国中最悪の状況となっています。本市では、全体で1256億円もの借金を抱えています。市民理解のもと、社会保障の持続可能性を確保しつつ、問題を先送りするこ

となく、適切な行政運営を行わなくてはなりません。

国の財政状況や今後の制度改正等の動向を踏まえ、財政健全化への取り組みについてお伺いいたします。

### ○財務部長

平成17年度末の借入残高の合計は、1256億2437万2000円であります。今後の財政運営は、財政指標に注意しながら、真に必要な事業を見きわめた上で、慎重に市債を活用し、公債費とのバランスを維持できるよう行わなくてはならないと考えております。

今後の見通しについては、三位一体改革での税源移譲に伴う税制改正による市税等の増加や、地方税財政改革における新型交付税等による影響や公債費の増加、人口の減少、少子高齢化による行政需要の拡大により、きわめて厳しい状態が続くと考えられます。

現在、緊急財政健全化対策本部を設置し、自主財源の確保、税徴収率の向上、歳出全般の効率化、事務事業の見直し、受益者負担の見直しの5本の課題を設定し、安定的財政運営に努めてまいりたいと考えております。

新市建設計画について  
市民が一つに  
なるイベント



渡田 智秀  
議員

新市建設計画にあります新市一体化促進事業として、市民が一つになるイベント、花火大会の実施を提案します。

花火大会の実施のためには、春日部商工会議所と庄和商工会、観光協会の統合が不可欠ですが、統合には難しい問題があり、しばらく時間が必要なようです。そのため、野田市で実施されている関宿花火大会に、まずは現状のまま参加してはどうでしょうか。

花火大会実施の費用対効果としては、市のイメージアップにつながり、人口が増加し、税収が増えると思われる。

関宿花火大会との合同開催について伺います。

○総合政策部長

花火大会等のイベントについては、新市の一体化を醸成する観点からも有効な手段の一つであると認識しています。しかし、花火大会等については、実行委員会を組織して実

施されており。

関宿まつりとの合同開催については、実施主体となる団体の統合・調整、また、開催場所や費用等、さまざまな課題があります。春日部商工会議所及び庄和商工会と協議したいと考えています。

○市長

さまざまな課題があるため、実現には一定の時間を要すると考えています。また、イベントの開催に当たっては、市民の側からの盛り上がりも必要だと考えています。

このほか

○8月15日について

子育て日本一をめざして



村松 君子  
議員

市長は「日本一子育てしやすいまち」を公約にしております。これは大変素晴らしいことだと思います。

子育て支援の決め手は、何と云っても、こども医療費無料化の拡大であります。このたび、来年4月から窓口立てかえ払いをなくし、通院も7

子どもの安全  
確保について



蛭間 靖造  
議員

子どもの安全確保については、教職員と学校だけでは不審者から守れないのではないのでしょうか。自発的なボランティア組織の活動を全面的に保障し、行政、教育委員会、保護者、市民が連携を強め、地域安全防犯ネットワークづくりができないでしょうか。

例えば、地域で子どもを気にかける習慣づくりを進めて日常生活の散歩や買い物や登下校の時間帯にでもらったり、統一的なボランティアの手引などの作成や子どもの安全活動の提案募集などもしてはいかがでしょうか。

○市民部長

地域安全防犯ネットワークについては市や犯罪防止に熟達した警察及び防犯推進員、自治会のパトロール団体等と協議し、子どもだけでなく市民すべてが安心して過ごせるまちづくりを目指して取り組んでまいりたいと思います。

また、手引や安全活動の提案募集などについては今後の参考とさせていただきます。

○学務指導担当部長

学校だけで子どもを守るには確かに限界があり、現在PTAや自治会、地域ボランティアの方々などのご協力で様々な活動を展開しています。

なお、教育委員会のホームページでは各家庭に子どもの登下校時の散歩や玄関先の清掃、冬場は玄関灯を早めに点灯するようお願いしています。

このほか

○暮らしと産業について

○労働問題について



通学風景

## 排水対策について



鳴島 武  
議員

春日部市の農業も、平成19年度からの農業構造改革を受けて大きく変わろうとしています。そのうち、農地・水・環境保全向上対策事業について、市の農業施策として、どのように推進、誘導していくのか伺います。

また、市街化調整区域の排水路整備、特に庄内領悪水路について、未整備部分では、のり面が崩れて川床が高くなり、整備済みの上流側に水がたまっている状況です。このような状況を解消するために、今後の整備について伺います。

### ○環境経済部長

市の農業施策としての推進方法や誘導については、既存の土地改良区を中心に活動組織を立ち上げていただきたく推進を図っている状況であり、各土地改良区に説明をしています。

### ○建設部長

庄内領悪水路については、

全体延長が7724メートルであり、そのうち最上流の芦橋地区の約1100メートルが土地改良事業により整備済みです。その下流部が未整備で、素掘り水路となっています。

水がたまってしまうことの解消方法については、下流側約3キロメートルを整備しないと解消できませんが、財政状況を考えると、今すぐに整備工事を実施することは難しいところです。

当面の対策としまして、維持管理的な補修工事等により対応してまいります。

## 生活困難な高齢者に対する支援策について



片山いく子  
議員

現在、国民年金受給者の年収は80万円弱です。これは、70歳以上の生活保護受給者の生活扶助費、年間82万7千円余りよりも、下回っています。

さらに、生活保護では、これに加え、住宅扶助、医療扶助、介護扶助等、さまざまな援助が受けられますが、国民

## 一ノ割周辺の道路改修について



五十嵐みどり  
議員

武里市民センターから国道4号に向かって車を走らせ踏切を越えると、左側に1本の電柱があります。朝夕のラッシュのときなどは、この電柱があるためスムーズに車が進まず、踏切の真ん中で遮断機がおりてきたらどうしようと、はらはらすることがあります。

この場所は、以前より周辺の方から相談を受け、また、その方たちと一緒にNITの担当者から説明を受けていますが、二転三転して移設に至っていない状況です。

今後、この踏切は拡幅になり、更にこの電柱は通行の妨げとなります。一日も早い移設をお願いします見解を伺います。

### ○建設部長

車の通行に支障を来している状況のため、踏切の拡幅に合わせ、旧武蔵野銀行付近の道路を土地所有者のご理解により、一部拡幅工事を行い、電柱を民地内に移設します。



一ノ割周辺道路

移設工事は、NIT電柱であることから同社に確認したところ、10月より地下ケーブルの移設工事から着手し、12月中旬の完了を予定していると回答をいただいています。工事が完了すれば、ポトルネットが解消され、車の通行もスムーズになると期待しています。

なお、移設費用は、道路拡幅工事による移設となりますので市の負担はありません。

このほか

- 食育について
- 介護予防施策について
- 広報紙と議会だよりの合併発行について

**住宅耐震改修補助  
制度などで地震に  
強いまちづくりを**



卯月 武彦 議員

地震の活動期に入ったといわれ毎年震災が発生しており、震災対策は緊急かつ最重要な課題の一つとなっています。

震災対策として重要なことは、地震が発生しても被害を小さく抑えるための対策です。地震に強いまちづくり、建物の耐震化が大切です。学校や市立病院など公共施設の耐震化を強く要望します。阪神淡路大震災で亡くなった人のうち8割は、倒壊した木造住宅の下敷きになることによる圧死や窒息死だといわれています。市民の生命を守るために住宅の耐震化が重要であり、補助制度をつくるべきだと思いますが、いかがでしょうか。

また、木造住宅の多い地域や武里団地のような古い集合住宅の多い地域など、地域ごとにどのような危険があるのかを予測して、それに合った対策や訓練が必要だと思いますが、いかがでしょうか。

さらに、高齢者世帯や障害者世帯などで、本人に代わって家具の転倒防止を行う制度も必要ではないでしょうか。

**〇都市整備部長**

耐震改修促進計画を策定する中で、耐震診断、改修の助成制度について研究します。

**〇秘書室部長**

地域性も取り入れて訓練を実施していますが、地域住民の協力を得ながら充実に図ってまいります。また、家具の転倒防止については、どういう支援ができるか研究します。

**このほか**

〇民間委託の問題点について



**国民健康保険の  
税率改正により  
国保会計は安定するのか**



阿部真理子 議員

国民健康保険は高齢化等により、医療費が年々増加し、17年度赤字繰入金は約12億5千万円になりました。合併公約どおり4月に制度改正し、

税率を改正しましたが、保険税の賦課方式を4方式から、所得割、均等割の2方式に改めたことによる影響額や税率改正後の収支見込みをどのように考えていますか。20年度には75歳以上の後期高齢者医療制度が創設され、国保から約1万4千人が対象となります。その結果、国保の税率アップにつながると考えられます。18年、19年、20年と連続しての税率改正は住民が納得できるものではなく、あらゆる手段を用いて避けていたいただきたいが市の考えを伺います。

**〇健康保険部長**

国保の税率改正には、国保事業の歳出と被保険者の加入動向が大きく影響します。定年退職者や早期退職等により、

被用者保険からの国保加入が増え、70歳以上の加入者伸び率は約54%です。課税方式を改めたことによる影響は1100万円の増額ですが、過去の医療給付費の伸びなどから推計すると収支不足は否めない状況です。

19年度税率改正については、年度途中であり給付費の動向に注意し、当面は収納努力に最大限傾注していきます。

**このほか**

〇総合支所を活用した図書館の早期開館を

〇男女共同参画推進条例策定の進捗状況は

**旧沼端小学校  
跡地利用について**



鬼丸 裕史 議員

旧沼端小学校は、廃校になった今でも地域住民における拠点的な施設であり、地域社会の核であると思います。

最近では、周辺住民の方から、公民館に転用できないかという声をよくいただきます。武里地区における公民館は、人口比率で他の地区の公民館

と比較しても十分満たされているとは言えない状況です。旧沼端小学校の建物を耐震補強を含めてリフォーム工事を実施して、公民館に転用してはいかがでしょうか。新築で建設する場合より、コストが割安で済むと思います。

また、跡地利用については今のような暫定的利用ではなくて教育や福祉施設など他用途への活用について、中長期的な視点に立ち考えるべきであると思います。今後、庁内検討組織を立ち上げ地域に即した活用方法を協議することです。このほか

**〇総合政策部長**

コストの比較では、新築、改築のいずれの場合においても約5億円以上の費用を要するものと考えています。

活用方法につきましては、地域のニーズに対応した活用とコミュニティの形成、公共の福祉に資する利用を図ることを主眼において、地域の方々が望む施設、市域全体における公共施設のバランス等を考慮して、さまざまな角度から検討をしてまいります。

**このほか**

〇安之堀川沿いの道の街灯について

## 今後の春日部市の農業と 農地の保全について



川鍋 秀雄  
議員

我が国の農業は現在の社会状況と同様に、農村でも少子高齢化が進み、農業従事者の高齢化が課題となっています。さらに、農業者の数が減り、後継者不足に苦慮しています。このままでは、都市近郊の農業は衰退し、農地の保全ができない状況をたどっていきかねません。

平成19年度から農業構造改革が進み、国は品目横断的経営安定対策を導入し、担い手対策、米対策、農地・水・環境対策の3点が進められます。こうした状況の中で、担い手対策に伴う農業規模の拡大、集団化について、どのように推進しているのか伺います。また、相談窓口の開設状況について伺います。

### ○環境経済部長

昨年11月の国による説明会以降準備を重ね、直接関係する団体や農家に対し担い手対策を推進しており、認定農業

者や、その候補者には直接説明を行っています。

また、相談窓口は、県春日部農林振興センター、JA南彩、JA埼玉みずほ、第三者機関の水田協議会などの関係機関が協力し、足並みをそろえて開設しています。特に候補となる団体等へは市職員、県職員、農協職員が一体となり、地元農業者のもとに出向き、調整を重ねています。

### このほか

○防災行政無線の活用

○4号バイパスと埼玉県農道との交差点に右折レーンの設置を



## 商工行政について



栄 康次郎  
議員

6月定例会で「短時間駐車をしての買い物難しくなることが予想されますが、施行後間もないためどの程度の影響があるかは、今後注視していく必要がある」との答弁を頂いていますが、道交法改正により駐車違反取締り強化による各商店への影響はどのように考えているのでしょうか。

また、今後の春日部の総合的なまちづくりを考えていくならば、ゾーニングは基本です。商業の集積地は市内各駅の周辺を中心とするべきです。今回の庄和地域の商業施設ができる地区は、適正に開発するということであれば交通に利便性があるので流通の拠点等に適する場所と考えます。

そこで、まちづくり3法の改正はどのようにとらえているか、また庄和地域の郊外型商業施設の開発には待ったをかけるべきと考えるがどうか

### ○環境経済部長

春日部駅周辺は駐車監視員が巡回する重点地域であり、商店会の方などからは、客が買い物をしにくくなったとの声を聞いています。駐車場問題は、現在空き店舗実態調査を実施しており、空き店舗対策として商店会などと協議していきたいと考えています。

### ○市長

法改正の趣旨は理解しています。国等の動向を見据えて法令を遵守して、本市の実情に合う手法があれば調査研究を重ねていきたいと考えます。

### このほか

○駅前の放置自転車対策

**助役不在で市民サービス向上が図られるのか  
早期就任の取り組みは**



小島 文男  
議員

市長は、非常にバイタリティーなどがあって頼もしい方ではありますが、幾ら頑張っても一人は一人です。24万市民の幸せのために助役不在のままでは行政を賄っていきけるのか心配をしているのは、私だけではないと思います。12月の議会で助役の選任に

ついでの考えもあるという話も聞きましたが、もう合併して間もなく1年になるとうとしています。助役を設置するのであれば、一人は春日部のことを全部網羅している人、もう一人は県とのパイプの強い人で定年を迎えた方ではなくて現役でバリバリの人物である方を迎えて、早く有能な2人の助役を据えていただく努力を進めるべきであると思いますが、考え方を市長にお伺いします。

### ○市長

一人の力量には限界があることも自覚しており、市民サービスに影響がないとはいえず、助役不在の影響は事務執行の面では少なからず生じていると思っております。

人選については、方向性を見きわめ議会と相談させていただき、本市の将来のまちづくりや、市民の幸せ実現のためにふさわしい人材を選任して、12月の議会を目前に努力していきたいと考えています。

### このほか

○農地の有効活用について  
(まちづくり三法)の中の調整区域の活用)

○行財政改革について

○市営納骨堂の建設について

# 9月定例会 審議結果

(○：賛成 ×：反対 -：退席)

議案番号	議案名 ( )は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	春 和 会	公 明 党	日 本 共 産 党	フ ォ ー ム 春 日 部	社 会 民 主 党
第97号	行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第98号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	×	○	○
第99号	職員公務災害等見舞金支給条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第100号	職員の特殊勤務手当に関する条例等の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第101号	総合福祉センター条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第102号	市立ふじ学園条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○
第103号	こども医療費の助成に関する条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第104号	重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○
第105号	商工振興センター条例の一部改正 (教育環境)	原案可決	○	○	○	×	×	×
第106号	市立病院使用料及び手数料条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第107号	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第108号	財産の取得〔春日部消防署・浜川戸分署用高規格救急自動車・高度救命処置用資機材等〕 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第109号	財産の取得〔庄和消防署水槽付消防ポンプ自動車(水I-A型)〕 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第110号	平成17年度一般会計決算認定 (各委員会)	認 定	○	○	○	×	○	○
第111号	平成17年度国民健康保険特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○
第112号	平成17年度老人保健特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○
第113号	平成17年度介護保険特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○
第114号	平成17年度土地取得特別会計決算認定 (総務・建設)	認 定	○	○	○	○	○	○
第115号	平成17年度下水道事業特別会計決算認定 (建設)	認 定	○	○	○	×	○	○
第116号	平成17年度庄和都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計決算認定 (建設)	認 定	○	○	○	○	○	○
第117号	平成17年度市立看護専門学校特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	○	○	○
第118号	平成17年度水道事業会計決算認定 (建設)	認 定	○	○	○	×	○	○
第119号	平成17年度病院事業会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○
第120号	平成18年度一般会計補正予算(第2号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	×	○	○
第121号	平成18年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第122号	平成18年度老人保健特別会計補正予算(第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第123号	平成18年度介護保険特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第124号	平成18年度下水道事業特別会計補正予算(第1号) (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第125号	平成18年度庄和都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第126号	平成18年度病院事業会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第127号	国民健康保険条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	×	○
第128号	平成18年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	×	○
第129号	手数料条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○

## 議員提出議案

第15号	ドクターヘリの全国配備へ新法制定を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第16号	県議会選挙の選挙区の改正を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	○	○	○	○
第17号	出資法及び貸金業規制法の改正に関する意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第18号	障害者自立支援制度の改善を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第19号	公共工事における建設労働者の適正な労働条件確保に関する意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第20号	インターネットを利用した選挙運動の解禁を求める意見書 (付託省略)	原案可決	×	○	○	○	○	○
第21号	肝炎問題の早期全面解決とウイルス性肝炎患者の早期救済を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第22号	病院長、病院事務部長に対する処分の撤回を求める決議 (付託省略)	原案可決	×	○	○	○	○	○

## 請 願

第5号	「教育基本法の理念を生かすことを求める」意見書を国に提出することを求める請願 (付託省略)	不採択	×	×	×	○	○	○
第6号	春日部市の農業振興を求める請願 (付託省略)	採 択	○	○	○	○	○	○

## 陳情

### ○陳情第2号

インセンス・パークを始めとする、今後の郊外への大規模商業施設出店反対についての陳情

### ○陳情第3号

インセンス・パークを始めとする、今後の郊外への大規模商業施設出店反対についての陳情  
※同一件名の陳情が、二者から提出されました。

## 今定例会の日程

### 8月28日

開会、議案第97号から議案第126号までの上程・説明

### 8月31日

議案第127号並びに議案第128号の上程・説明、議案第97号から議案第110号までに対する質疑

### 9月1日

議案第110号から議案第112号までに対する質疑

### 9月4日

議案第113号から議案第119号までに対する質疑

### 9月5日

議案第120号から議案第128号までに対する質疑

### 9月7日・8日

常任委員会

### 9月12日

一般質問（7人）

### 9月13日

一般質問（7人）

### 9月15日

一般質問（6人）

### 9月19日

一般質問（6人）

### 9月20日

一般質問（6人）

議案第129号の上程・説明・質疑、総務委員会

### 9月22日

常任委員長報告とそれに対する質疑、各議案並びに請願に対する討論・採決、議員提出議案の上程・説明・質疑・討論・採決、閉会

## 閉会中の委員会活動

### ▽議会運営委員会

8月23日  
平成18年9月定例会運営について

### ▽議会だより編集委員会

9月28日  
議会だより第5号の発行について  
10月6日  
議会だより第5号の発行について

## 今定例会市議会傍聴状況

月日	傍聴者数	主な日程
8/28	3	上程・説明
9/31	4	質疑
9/1	5	質疑
9/4	4	質疑
9/5	1	質疑
9/12	50	一般質問
9/13	31	一般質問
9/15	35	一般質問
9/19	42	一般質問
9/20	30	一般質問
9/22	4	討論・採決
合計	209	

## 傍聴して一言

男女共同参画推進条例策定に向けて、現在、検討会議が開かれていて、12月議会に上程されることを答弁で知ることができ、傍聴に来てよかったですと思いました。

女性議員の質問がきめ細かくて分かりやすかったです。市民のため、がんばっていただきたいと思います。

女性64歳

執行部に質問しているのだから、執行部に向けた発言席を設けるか、自席のマイクを使用すべき。横向きでの質問は見苦しい。

質問と答弁に緊迫感がない。執行部との調整のしすぎか。答弁は眠くなる。原稿を読むだけでも気を入れるべき。意欲が感じられない。

女性66歳

初めての傍聴でした。たくさんさんの疑問も少しずつ解ってきました。何回も傍聴し、市の行政を知りたいと思います。

女性72歳

※割愛させていただいた部分もあります。

## 編集後記

9月議会では、合併後初の半年間の新市決算を認定しました。厳しい財政状況ですが、市民サービスの向上に向け、議会として、しっかりとしたチェック機能を果たしていきたいと思えます。

暦の上では間もなく「立冬」。季節の変わり目となりますが、風邪などひかぬよう、市民の皆様のご健勝をお祈りいたします。

### 議会だより編集委員会

- 委員長 村松 君子
  - 副委員長 阿部真理子
  - 委員 鬼丸 裕史
  - 委員 岩谷 一弘
  - 委員 洪田 智秀
  - 委員 松本 浩一
  - 委員 武 幹也
  - 委員 石川 勝也
  - 委員 小島 文男
- オブザーバー  
議長 中川 朗  
副議長 内田 勝康

〒344-8577

埼玉県春日部市中央6丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111 (代表)

内線3116